

# 2023年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 サイタホールディングス株式会社  
 コード番号 1999 URL <https://saita-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福  
 TEL 0946 22 3875

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	2,795	2.4	281	75.6	302	24.6	197	14.1
2022年6月期第2四半期	2,863	6.6	160	41.8	242	29.2	172	23.8

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 232百万円 (55.8%) 2022年6月期第2四半期 149百万円 (40.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	312.98	
2022年6月期第2四半期	274.25	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期第2四半期	7,181	4,464	62.2	7,082.34
2022年6月期	7,142	4,270	59.8	6,773.51

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 4,464百万円 2022年6月期 4,270百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		60.00	60.00
2023年6月期		0.00			
2023年6月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	4.3	400	31.0	470	41.2	300	41.2	475.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期2Q	661,000 株	2022年6月期	661,000 株
期末自己株式数	2023年6月期2Q	30,588 株	2022年6月期	30,588 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期2Q	630,412 株	2022年6月期2Q	630,452 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
3. 四半期建設事業受注の概況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動正常化の両立に向けた各種政策により、景気を持ち直しが期待されるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の上昇、物価高、急激な為替変動の影響等が懸念され、依然として先行きが不透明な状況にあります。

当社グループの主力事業であります建設業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は比較的軽微であり、公共投資は底堅く推移しているものの、エネルギー価格や資材価格の高騰による工事収益率の低下や砕石製造原価の上昇は依然として続いており、先行きは予断を許さない状況となっております。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、グループ各社の収益改善に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は27億9千5百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業利益2億8千1百万円（前年同四半期比75.6%増）、経常利益3億2百万円（前年同四半期比24.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9千7百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として完成工事高が下半期、特に第3四半期に偏ることから、通期の業績に対し第2四半期までの売上高の割合が低くなるといった季節的変動があります。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

#### (建設事業部門)

当第2四半期連結累計期間の受注高は10億6千2百万円（前年同四半期比16.9%減）、完成工事高は11億9千1百万円（前年同四半期比22.0%減）、営業利益は1億1千5百万円（前年同四半期比24.8%減）となりました。

#### (砕石事業部門)

当第2四半期連結累計期間の売上高は12億4千5百万円（前年同四半期比22.0%増）、営業利益は2億6千万円（前年同四半期比147.2%増）となりました。

#### (酒類事業部門)

当第2四半期連結累計期間の売上高は1億8千6百万円（前年同四半期比31.3%増）、営業損失は9百万円（前年同四半期は営業損失9百万円）となりました。

#### (その他の事業部門)

当第2四半期連結累計期間の売上高は1億7千2百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は2千2百万円（前年同四半期比24.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は41億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千2百万円減少いたしました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が7千8百万円減少いたしました。現金預金が2千1百万円増加したことによるものであります。固定資産は30億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ9千1百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が8千3百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、71億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千9百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は23億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1百万円減少いたしました。これは主に未成工事受入金が9千1百万円減少したことによるものであります。固定負債は3億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千3百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が6千5百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、27億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5千5百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は44億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9千4百万円増加いたしました。これは主に配当金3千7百万円の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益1億9千7百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.2%（前連結会計年度末は59.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期決算発表時（2022年8月19日）に公表した通期の業績予想については現時点での変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,362,133	2,383,493
受取手形・完成工事未収入金等	1,574,181	1,495,898
棚卸資産	218,395	208,569
その他	44,453	58,917
流動資産合計	4,199,162	4,146,879
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	248,503	244,950
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	620,422	697,247
土地	832,729	832,729
リース資産(純額)	8,374	7,389
その他	6,990	18,190
有形固定資産合計	1,717,019	1,800,507
無形固定資産		
採石権	10,996	10,278
その他	2,663	2,663
無形固定資産合計	13,659	12,942
投資その他の資産		
投資有価証券	386,564	416,919
保険積立金	257,977	263,362
繰延税金資産	38,127	10,244
退職給付に係る資産	107,696	92,322
その他	482,837	499,371
貸倒引当金	△60,922	△60,922
投資その他の資産合計	1,212,280	1,221,297
固定資産合計	2,942,959	3,034,747
資産合計	7,142,122	7,181,627

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	270,990	321,405
短期借入金	1,503,455	1,427,512
リース債務	2,157	2,162
未払費用	156,708	83,572
未払法人税等	67,472	60,156
未成工事受入金	224,318	132,437
賞与引当金	10,100	9,860
その他	195,701	292,565
流動負債合計	2,430,904	2,329,671
固定負債		
長期借入金	231,180	165,440
リース債務	7,080	5,997
繰延税金負債	8,881	13,257
退職給付に係る負債	143,785	150,171
役員退職慰労引当金	46,352	48,464
その他	3,835	3,835
固定負債合計	441,114	387,166
負債合計	2,872,018	2,716,837
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	594,558	594,558
利益剰余金	2,892,366	3,051,845
自己株式	△35,934	△35,934
株主資本合計	4,393,940	4,553,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,499	24,678
為替換算調整勘定	△134,336	△113,309
その他の包括利益累計額合計	△123,837	△88,630
純資産合計	4,270,103	4,464,789
負債純資産合計	7,142,122	7,181,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高		
完成工事高	1,528,018	1,191,261
兼業事業売上高	1,335,373	1,604,221
売上高合計	2,863,391	2,795,482
売上原価		
完成工事原価	1,242,755	997,356
兼業事業売上原価	1,080,114	1,051,561
売上原価合計	2,322,869	2,048,918
売上総利益		
完成工事総利益	285,263	193,904
兼業事業総利益	255,258	552,659
売上総利益合計	540,522	746,563
販売費及び一般管理費	379,956	464,600
営業利益	160,565	281,963
営業外収益		
受取利息	73	110
受取配当金	1,616	1,736
固定資産賃貸料	13,221	12,789
為替差益	27,281	—
持分法による投資利益	47,427	25,583
受取保険金	1,115	844
その他	6,164	11,425
営業外収益合計	96,900	52,489
営業外費用		
支払利息	7,511	7,206
貸倒引当金繰入額	781	—
為替差損	—	18,956
支払保証料	2,464	1,560
その他	3,784	4,149
営業外費用合計	14,542	31,873
経常利益	242,923	302,579
特別利益		
固定資産売却益	8,589	9,367
投資有価証券売却益	4,999	—
特別利益合計	13,589	9,367
特別損失		
固定資産除却損	—	194
減損損失	—	1,377
役員退職慰労引当金繰入額	23,462	—
特別損失合計	23,462	1,572
税金等調整前四半期純利益	233,051	310,375
法人税、住民税及び事業税	21,755	86,380
法人税等調整額	38,396	26,688
法人税等合計	60,152	113,068
四半期純利益	172,899	197,306
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,899	197,306

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	172,899	197,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,278	13,965
為替換算調整勘定	△27,130	21,027
持分法適用会社に対する持分相当額	1,210	214
その他の包括利益合計	△23,641	35,206
四半期包括利益	149,258	232,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,258	232,513
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	233,051	310,375
減価償却費	114,131	108,343
貸倒引当金の増減額(△は減少)	781	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△301	△240
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,128	22,136
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,092	2,112
受取利息及び受取配当金	△1,690	△1,847
支払利息	7,511	7,206
為替差損益(△は益)	△23,338	14,807
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,999	—
持分法による投資損益(△は益)	△47,427	△25,583
固定資産売却損益(△は益)	△8,589	△9,367
固定資産除却損	—	194
受取保険金	△1,115	△844
役員退職慰労引当金繰入額	23,462	—
減損損失	—	1,377
売上債権の増減額(△は増加)	△623,860	77,201
未成工事支出金の増減額(△は増加)	30,259	—
棚卸資産の増減額(△は増加)	23,631	5,299
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,090	50,190
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△141,917	△91,881
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,348	△1,607
その他の資産の増減額(△は増加)	4,703	△13,795
その他の負債の増減額(△は減少)	△80,790	△55,677
その他	1,500	1,500
小計	△595,657	399,901
利息及び配当金の受取額	3,032	3,189
利息の支払額	△7,522	△7,194
法人税等の支払額	△122,923	△61,215
法人税等の還付額	—	596
保険金の受取額	1,115	844
役員退職慰労金の支払額	△23,462	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△745,416	336,122

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△125,000	△125,001
定期預金の払戻による収入	125,000	125,000
貸付けによる支出	△4,700	△300
貸付金の回収による収入	3,667	1,477
投資有価証券の売却による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△85,250	△134,171
有形固定資産の売却による収入	19,680	9,367
保険積立金の積立による支出	△5,384	△5,384
その他	5	△6,806
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△61,981</b>	<b>△135,817</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	459	△40,030
長期借入金の返済による支出	△106,364	△99,606
リース債務の返済による支出	△486	△977
配当金の支払額	△37,700	△37,788
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△144,091</b>	<b>△178,402</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,270	△541
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△949,219	21,360
現金及び現金同等物の期首残高	2,314,767	2,030,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,365,548	2,052,267

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	1,528,018	1,021,232	141,983	2,691,234	157,156	2,848,390	-	2,848,390
その他の収益(注) 4	-	-	-	-	15,000	15,000	-	15,000
外部顧客への売上高	1,528,018	1,021,232	141,983	2,691,234	172,157	2,863,391	-	2,863,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,761	74,488	478	85,727	29,808	115,535	△115,535	-
計	1,538,779	1,095,720	142,461	2,776,961	201,965	2,978,927	△115,535	2,863,391
セグメント利益又は 損失(△)	153,180	105,582	△9,681	249,082	18,040	267,122	△106,557	160,565

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額106,557千円には、セグメント間取引消去932千円、各報告セグメントに配分していない全社費用107,489千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益15,000千円は、不動産事業の売上高であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	1,191,261	1,245,435	186,441	2,623,138	157,496	2,780,634	-	2,780,634
その他の収益(注) 4	-	-	-	-	14,847	14,847	-	14,847
外部顧客への売上高	1,191,261	1,245,435	186,441	2,623,138	172,344	2,795,482	-	2,795,482
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,439	18,198	511	24,149	22,470	46,620	△46,620	-
計	1,196,701	1,263,634	186,952	2,647,287	194,815	2,842,102	△46,620	2,795,482
セグメント利益又は 損失(△)	115,140	260,986	△9,259	366,866	22,457	389,324	△107,361	281,963

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額107,361千円には、セグメント間取引消去4,482千円、各報告セグメントに配分していない全社費用102,878千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益14,847千円は、不動産事業の売上高であります。

3. 四半期建設事業受注の概況

(株式会社才田組受注高)

	受注高	
	千円	%
2023年6月期第2四半期累計期間	1,033,126	△13.1
2022年6月期第2四半期累計期間	1,188,459	△40.2

- (注) 1. 受注高は、当該四半期までの累計額であります。  
 2. パーセント表示は、前同四半期比増減率であります。

受注実績内訳

			2023年6月期 第2四半期累計期間		2022年6月期 第2四半期累計期間		比較増減 千円	増減率 %
			千円	%	千円	%		
建設事業	土 木	官公庁	985,673	95.4	1,003,807	84.5	△18,133	△1.8
		民 間	26,902	2.6	128,572	10.8	△101,670	△79.1
		計	1,012,576	98.0	1,132,380	95.3	△119,804	△10.6
	建 設	官公庁	16,767	1.6	26,270	2.2	△9,503	△36.2
		民 間	3,783	0.4	29,808	2.5	△26,025	△87.3
		計	20,550	2.0	56,078	4.7	△35,528	△63.4
	合 計	官公庁	1,002,440	97.0	1,030,077	86.7	△27,636	△2.7
		民 間	30,685	3.0	158,381	13.3	△127,696	△80.6
		計	1,033,126	100.0	1,188,459	100.0	△155,333	△13.1

- (注) パーセント表示は、構成比率であります。